

アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム

2020 汗かくメディア

作品募集

今年も 作品ぼしゅら 2020.1.14→3.3

子どもが(もちろん、大人も)つながって、遊ぶ、楽しくて刺激的な機会が求められています。
愛知県児童総合センターは、そんな場となることをめざしつつ、
メディアがひらくいろいろな可能性をひきだし、限らない子どもたちの創造力を刺激する、
これまでにないあそびを募集します。

募集期間=2020年1月14日[火]→3月3日[火]

主催=愛知県児童総合センター(公益財団法人 愛知公園協会)



事業の概要

子どもたちが健全に発達するためには、[あそび]が重要な役割を担います。自由に自分を表現し、認められ、受け入れられる体験をすることや、[あそび]という緩やかなルールの中で、他者との間で自分自身を確かめることは、自分の感性に自信を深め、自分自身を確かな存在として持つ基盤となります。

1996年の開館以来、愛知県児童総合センターでは、[アート]をきっかけとしたあそびのプログラム開発を、日常の活動や特別企画の活動などを通して試行・実践してきました。子どもたちの成長にとって不可欠な[あそび]に[アート]が加わることで、今まで「あたりまえ」と思っていたモノやコトに対する視点の変化につながり、さまざまな気づきや驚きが生まれる体験をもたらしてくれると考えています。

開館当初からおこなってきた「遊具・あそびのプログラム開発」では、1996年から「アートと遊びと子どもをつなぐプログラム公募」(第1期)を2002年度までの6年間実施し、2006年の再オープンから2016年までの10年間は「アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム“汗かくメディア”」(第2期)として継続してきました。この間、数多く寄せられた優れた応募作品は、愛知県児童総合センターおよび地域のあそび場の活性化に寄与してきました。

昨年より第3期として再開した「アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム 汗かくメディア」では、さらに[アート]と[あそび]と[メディア]の原点に立ち返り、子どもたちが新鮮な視点で世界に主体的にかかわり、新しいコミュニケーションや表現を可能にするあそびのプログラムやあそび環境への提案を期待しています。

応募作品の中から優秀作品を3作品程度「汗かくメディア賞」として選考します。選考された作品は2020年秋ごろに愛知県児童総合センターで開催予定の「汗かくメディア受賞作品公開展示」にて発表させていただきます。

主催 愛知県児童総合センター(公益財団法人 愛知公園協会)

* 応募にあたっての注意事項

- ◎個人・グループは問いません(グループの場合は代表者名にて応募してください)。
- ◎応募段階で作品が完成している必要はありませんが、「汗かくメディア受賞作品公開展示」(2020年秋ごろ予定)までに完成し、発表可能なものとしてください。制作途中で実現不可能と判断した場合、受賞を取り消す可能性もあります。
- ◎作品の形状は問いません。約2週間の発表に耐える強度を持つよう企画、設計してください。
- ◎審査の状況によっては追加資料の提出が必要となる場合があります。
- ◎過去に発表した作品も応募可能ですが、応募者本人が著作権者のものに限りません。
- ◎作品中に使用される美術、映画、写真、映像、プログラムおよび音楽等については、必ず著作権者の許諾を得た上で応募してください。第三者からの権利侵害、損害賠償等の主張がなされたとしても、応募者が自らの責任で対処することとし、主催者は一切の責任を負いません。
- ◎受賞作品とその提案企画書の著作権は応募者に帰属します。ACCは本事業の実施、普及・広報を目的に展示、閲覧、印刷、電子出版、ホームページへの掲載、放送等において無償で使用、複製できるものとします。
- ◎展覧会来場者の個人的な会場風景や作品の写真・動画撮影、および写真・動画のブログやSNSへの掲載を可とする予定です(商業目的の撮影・使用は不可)。作品を多くの人に知ってもらう情報発信の促進のため、あらかじめご了承ください。
- ◎受賞作品については、展示会場が大形児童館という特性を持つことから、ACCとともに相談しながら作品を実現していくことになります。必要な場合は最小限の改変をお願いする場合があります。
- ◎受賞作品の展示については、期間中体験できるように細心の注意を払いますが、不可抗力・不測の事態による作品の損傷などにおきましては主催者は一切その責任を負いません。
- ◎応募に伴う一切の費用は、応募者の負担となります。
- ◎提出された提案企画書・資料は、原則として返却いたしません。
- ◎応募作品の結果は、郵送およびACCのホームページにてお知らせいたします。その他の電話等による個別のお問い合わせはお受けできません。

* 個人情報の取り扱い

応募者の個人情報はACCが責任を持って厳重に管理し、以下の目的にのみ使用します。

1. 本事業実施のために必要な連絡や選考に関する業務。
2. 本事業の普及・広報を目的にした展示、閲覧、印刷、電子出版、ホームページへの掲載、放送等における一般への紹介。
3. ACCからの各種案内の送付(希望者のみ)。

募集期間

2020年1月14日(火)―3月3日(火)

賞

汗かくメディア賞(3作品程度) 賞金 100,000円

※別途、企画者と愛知県児童総合センター(以下ACC)で協議のうえ、制作補助金額(最大10万円)を決定し展示終了後にお支払いたします。

作品発表

『汗かくメディア受賞作品公開展示』(2020年秋ごろ予定)にて、ACCを会場に受賞作品の発表をしていただきます。

応募方法

- ◎2020年1月14日(火)よりACCホームページ(<https://www.acc-aichi.org>)及び郵送(下記送付先、2020年3月3日消印有効)にて提案企画書の応募を受付けます。
- ◎参考資料がある場合は、提案企画書受け付け番号を記入の上、2020年3月3日(火)必着で、下記まで送付してください。なお送付された参考資料は返却いたしません。

事業の流れ

1. 2020年3月3日(火)までにACCホームページまたは郵送(3月3日消印有効)で応募。
2. 3月下旬、応募書類により選考委員会で『汗かくメディア賞』を決定。郵送で応募者全員に結果を送付します。受賞者には賞金を授与します。
3. 受賞作品決定後、企画内容及び提案者氏名(グループ名)をACCホームページに掲載します。
4. 4月以降、ACCと打ち合わせ後、企画内容及び制作補助金額を決定します。
5. 2020年秋ごろ『汗かくメディア受賞作品公開展示』にて、作品を発表していただきます。
6. 2021年1月(予定)に記録集を発行します。

期待している作品

1. さまざまなメディアを介して、「世の中の本質的な事柄」に新しい驚きを持って出会うことができるもの。
2. 子どもも大人も参加可能なもので、子どもと大人をつなぐコミュニケーションを生むもの。
3. 人数制限、時間的制約が少なく、幅広い年齢層で参加できるもの。
4. ACCの特性や、建物、環境を多いに活用し、ACCをハード・ソフト両面で活性化させるようなもの。

選考委員(五十音順)

遠藤潤一(金城学院大学准教授)

副田一穂(愛知県美術館学芸員)

田嶋茂典(遊び環境アドバイザー)

前田ちま子(美術&博物館教育リサーチャー)

茂登山清文(名古屋芸術大学教授)

愛知県福祉局子育て支援課長

愛知県児童総合センター長

企画送付先・問合せ先

〒480-1342

愛知県長久手市茨ヶ廻間乙1533-1(愛・地球博記念公園内)

愛知県児童総合センター

「アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム2020 汗かくメディア」担当

Tel. 0561-63-1110 Fax. 0561-63-1116